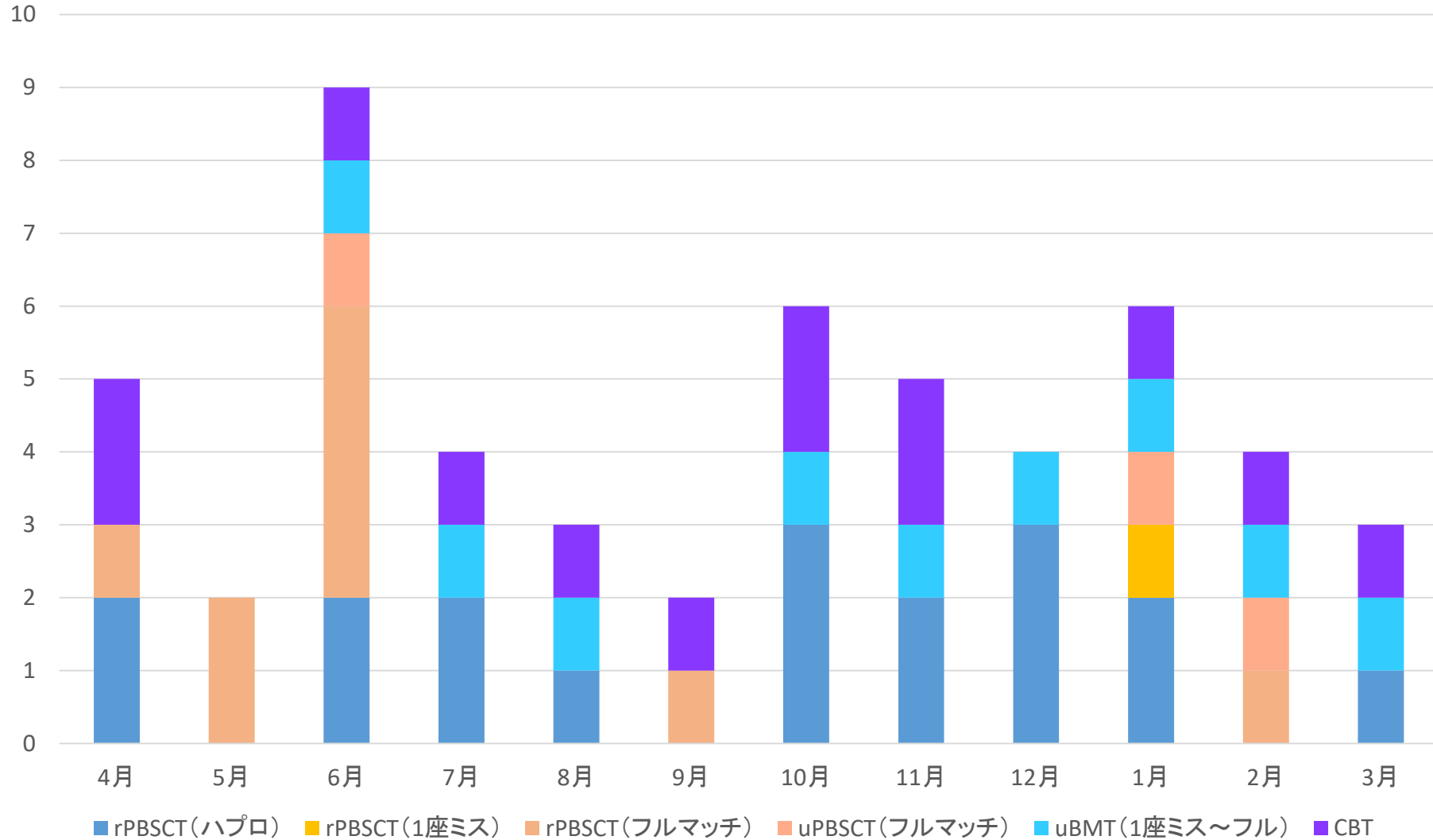


造血幹細胞移植看護基礎研修Ⅱ 患者教育（セルフケア支援） オリエンテーション

大阪市立大学医学部附属病院

内田桂子

2019年度月別・移植ソース別件数



**2019年度造血幹細胞移植患者数
53名**

**2020年3月血液内科病棟看護師
35名**

**看護師1 : 1.51患者
オリエンテーション**

血液内科・造血幹細胞移植科

7階東病棟：無菌室12床

内訳

クラス100：4床

クラス10000：8床

7階西病棟：無菌室9床

内訳

クラス100：9床

クラス10000：病棟廊下

ナースステーション

自家移植は東病棟クラス10000の部屋でも
おこないます

オリエンテーション

移植に必要なセルフケアを獲得するための内容

項目	内容
感染予防	感染予防のために必要な環境、無菌室のしくみ、うがい・手洗いや身体の清潔を保つことの必要性について 予防内服の必要性
口腔ケア	口腔内の清潔について、口内炎予防対策
食事制限	制限の必要性と制限解除までの目安
リハビリテーション	適度な運動の必要性と具体的な過ごし方
その他	体調管理、内服管理、治療関連行為の獲得、睡眠の確保、医療費について、緊急時の家族との連絡のとり方、家族支援について

移植計画書の記載

移植計画書1	移植計画書2	移植計画書3	入院	移植前	移植後	退院前
家族の協力体制						
移植説明時移植意思		職業(現在の状況)		Key person caregiver		
住所			(病院まで	分)	連絡先	
生計者			保険		<input type="checkbox"/> 医療保険	<input type="checkbox"/> 生命保険 他
高額療養費 申請		認定証	休業補償等			
特筆すべき社会背景						
基金利用						
家族構成						
					ペット <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
					<input type="checkbox"/> 室内 <input type="checkbox"/> 室外	
患者HLA測定 <input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 結果待ち <input type="checkbox"/> 済						
検査施設			費用		血縁ドナー候補 名	
血縁者1						
ID:	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	関係	健康状態	住所	
名前	HLA	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 済	→結果	検査場所	費用負担	
血縁者2						
ID:	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	関係	健康状態	住所	
名前	HLA	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 済	→結果	検査場所	費用負担	
血縁者3						
ID:	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	関係	健康状態	住所	
名前	HLA	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 済	→結果	検査場所	費用負担	
血縁者4						
ID:	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	関係	健康状態	住所	
名前	HLA	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 済	→結果	検査場所	費用負担	
その他血縁者						
			バンドドナー情報 8/8アレルマッチ 名 6/6アレルマッチ 名 6抗原他 名			
バンク登録 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 説明 <input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 済 登録→						
減免			<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	% <input type="checkbox"/> 申請中		
CB情報 4/6抗原マッチ以上						
細胞数 2.5 以上かつCD34が 0.5 以上の臍帯血数		個	時点		CB申込 CB申し込み日	
細胞数 2.0 以上かつCD34が 0.5 以上の臍帯血数		個	()さいたい血バンク			
ドナーコーディネーター方針						
			移植想定時期			
多職種介入(介入日)						
MSW	栄養士	薬剤師	リハビリ	緩和		

クリア

確定

閉じる

移植計画書 1

移植計画書

ファイル(E) 編集(E) 挿入(I)

移植計画書1 | 移植計画書2 | 移植計画書3 | 入院 | 移植前 | 移植後 | 退院前

開始日 / / 主治医 担当看護師

ID 0099955445 身長 cm 体重 Kg (元 Kg) 血液型: HCTC::

氏名 テスト 母 年齢 45 歳 (生年月日 1975/01/01)

疾患名 分類

疾患状態(病期) 診断日 / /

リスク因子

染色体異常 有 無 詳細

既往歴

合併症(併存症)

感染症既往

感染症 HBsAg HBsAb HCV-Ab HIV-Ab HTLV-1 Ab その他特記事項

活動性感染症

臓器障害の有無

心機能 EF % 未検 腎機能 その他 治療中の合併症

移植前準備(感染症)

他()

肛門病変 既往 無 有 () 副鼻腔 既往 無 有 () 歯科 義歯 知歯 齲歯 歯槽膿漏 口内炎

受診 無 有 () CT 無 有 () 受診 無 有 ()

嗜好品

喫煙 無 有 (禁煙: / 禁煙外来:) 飲酒 無 有 (日/週 機会摂取 1回量)

喫煙歴 本/日 × 年 (年前より禁煙) 発病後 無 有 ()

妊孕性温存 希望 有 無 希望未定 受診済 その他 *保存日 / / 保存施設

妊孕性温存への想い

治療経過

紹介元

主治医

移植説明 年月日 / /

同席者

IC内容/質問など

疾患・移植への理解

外来/ICでの様子

移植計画書 3

移植計画書

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I)

移植計画書1 移植計画書2 **移植計画書3** 入院 移植前 移植後 退院前

問題点

移植日 / / 移植前処置

GVHD 予防 研究 無 有

移植ソース 血縁 非血縁 ドナー氏名 男 女 ID

ドナー採取予定

ドナーのプロブレム

患者血型 ドナー血型 洗浄 不要 有

Pt CMV IgG 陰性 陽性 (/ /) ドナー CMV IgG 陰性 陽性 (/ /)

HLA抗体検査日 / / 陰性 陽性 (DSA) HLA一致度 / マッチ

備考

配付資料: 目で見える造血幹細胞移植 リレーション (当院) 家族向け移植資料 クリーンルーム説明 食事

移植計画書の記載

ファイル(E) 編集(E) 挿入(I)

移植計画書1 移植計画書2 移植計画書3 入院 移植前 移植後 退院前

入室前日
入室が火曜→月曜
入室が月曜→金曜

患者の私物搬入
・バジャマ
・パンツ
・タオル
・プラスチックの箸・スプーン・蓋付き
・ボディソープ・ハンドソープ
・歯ミガキ粉・歯ブラシ(1本/w)
・食器用洗剤・スポンジ
・食器洗い上げ用トレイ
・マスク
・ティッシュ・ウエットティッシュ
・コロコロ、ゴミ袋
・爪切り
・必要時紙おむつ
・飲料水
・保存食品
・踵のある靴

部屋の準備
・部屋用の点滴スタンドがあるか確認
・体温計・薬BOX・患者記録用尿量チェック表の準備
・ブラインドの作動確認
・酸素流量計の準備
・ネームプレートの設置
(病室・面会廊下・パスボックス)
・手指消毒の期限・残量確認
→(開封後6ヶ月)
・手袋の補充

プロトコール表の確認
 薬剤のオーダ確認
 ※必要時はクライオセラピーについて説明

床頭台のコンセントを入れる
 尿コップ・ユージンリン・尿器を準備
 ホワイトボードの保清表に記入
→看護指示変更
 患者の私物搬入状況の確認
 酸素流量計(ベット用)・吸引器の設置

備考

入室当日

クリーンルーム入室時の手順書参照
 パソコンで移動実施
 看護指示の変更
 患者記録用尿量チェックリスト表の使用法説明
 転倒転落アセスメント
 屯用薬の移動
 患者ファイルの中身の移動

口腔アセスメント開始
 含嗽水使用開始
 合意の上、全身の皮膚の写真撮影と取り込み

備考

移植前日

移植時間の確認
→輸血部には医師が取りに行く

ハプトグロビンオーダ確認
(BMTのABOミスマッチ・PBSCT→必要)
(BMTのABOマッチ・CBT→不要)

ソル・コーテフォーダー確認(全例で必要)

移植時必要物品準備
・Y字管輸注ルート
・心電図モニター
・生食

備考

移植当日

必要物品の確認
 ベットサイドモニター
 架台付き酸素ボンベ
 ベット用点滴スタンド
 酸素流量計(ベット用)吸引器のチェック

備考

クリア 確定 閉じる

移植計画書の記載

入院

移植計画書

ファイル(E) 編集(E) 挿入(I)

移植計画書1 移植計画書2 移植計画書3 **入院** 移植前 移植後 退院前

入院～クリーン入室3日前まで

- クリーンルーム入室オリエンテーション
※赤ファイルを参照
 - クリーンルームの見学 患者 家族
 - ・面会方法・電話の使用方法
 - ・差し入れ方法の説明
※環境クロスで拭けるものは拭いて頂くよう説明
 - ・パスボックスの使用方法の説明
 - ・患者・家族に入室時に必要物品の購入を依頼
- 入室日決定後、クリーンルームの患者一覧表に入室予定日・患者名を記入
 - ・患者用退院支援マップを使用し、移植後～退院までの流れを説明する。
- 歯科検診（依頼）
- 血内口腔ケアの指導・記録
- リハビリパンフレットを用いての指導
→主に床上リハビリを中心に指導
- ※必要時※
→リハビリ介入（ 指示確認 受診）
- MSWの紹介
（入院時スクリーニングシート・退院支援計画書作成）
 - ・医療費の不安
 - ・介護保険（ 有 無）
- 生活環境チェックリストを渡し、必要事項を看護プロファイルに記入する。
- 移植チーム紹介
- 緩和ケア介入依頼
※チームカンファレンスを行い、必要性があった場合は介入依頼を行う
- 薬剤師による服薬指導
- 内服管理方法確認
- 免疫抑制剤についての説明

備考

クリア 確定 閉じる

クリーンルームで治療を受けられるかたへ

目次

- I クリーンルームで治療を受けられる患者さまへ
クリーンルームとは？
クリーンルームで必要な物品
- II お口のケアについて
- III お食事について
- IV **移植治療の患者様へ**
 - 1 移植の流れについて
 - ・全身照射について
 - ・緩和ケアについて
 - ・リハビリについて
 - 2 移植の合併症について

クリーンルームで
治療を受けられるかたへ

手洗いについて

流水による手洗いの方法

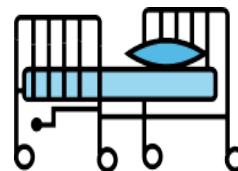
- 1)トイレの後や目に見える汚れが手にある時にします。
- 2)ハンドソープを使用し、しっかりと洗い流してから、タオルでしっかりと水分を拭き取って下さい。
- 3)皮膚が荒れると細菌が繁殖しやすくなるので、手の保湿も行なって下さい。
- 4)食事の前や排泄後、新聞、雑誌、単行本等を読んだ後は必ず手洗いして下さい。
- 5)ペーパータオルまたは清潔なタオルを使用してください。
- 6)それ以外の手洗いは、手指の消毒液)を使用してください。

ベッドの周りの環境整備

1) そうじしやすいようにご自身で日用品は整頓し、ホコリがたまらないように最低限のものをテーブルに置くようにして下さい。使用しない物品は、引き出しやロッカーに収納するか、ご家族に持って帰ってもらいましょう。

3)ホコリにはカビや微生物が多く含まれています。日用品やよく手を触れる場所をご自身できれいにしておくことが感染予防につながります。オーバーテーブル・床頭台・点滴台の持ち手・リモコンなどを毎日ウェットティッシュで拭きましょう。

4)床に落ちたものをそのまま使用することは不潔です。物を落とした場合はウェットティッシュで拭くか洗浄してから使用するようにしましょう。拾ったあとは必ず流水で手洗いをして下さい。



IV.移植治療の患者様へ



○全身放射線治療（TBI）

移植の前処置として、全身放射線照射(TBI)を行います。

主な副作用

- ★ 放射線照射の後に、吐き気、嘔吐、頭痛、体のだるさ、唾液腺あたりの痛みが出る場合があります。
- ★ しばらくして、皮膚障害（赤くなる、ヒリヒリする、表皮がむけるなど）や粘膜障害（口内炎、咽頭炎、胃痛、下痢など）脱毛、唾液の減少や味覚障害が出現する場合があります。

副作用の対応

- ★ 吐き気や頭痛などの症状が出た時は、お知らせください。
お薬や、氷枕などをご用意します。
- ★ 皮膚障害の予防のために放射線照射の開始日から、入浴のあとや照射のあとに全身を保湿するための保湿クリーム（市販の物で構いません）などを塗布するようにしましょう。
皮膚障害の症状が出た時もお知らせください。
軟膏などのお薬が処方されることもあります。

スマホ、パソコンからでも チェック可能です

免疫不全食①⇒移植中
化学療法中
免疫不全食②⇒移植後

外泊・退院時

管理栄養士からの指導
があります

【免疫不全食①】の食事制限と注意事項

食事も治療の一環です。できるだけ病院食をお召し上がりください。


免疫低下期間内に持ち込み可能な食品は全てにおいて、

密封 **破損していない** **個包装**

持参日～賞味期限までの期間が各項目の指定期間以上ある

ことが絶対です！

※密封とは外装を破らなければ開けられず、液体・空気が内部に入りにくい包装状態のこと

	◎食べられる物（リスクの低い物）	×リスクの高い物とその理由
ごはん おかず	【密封・個包装】 カップ麺・カップスープ 缶詰（缶切りを使用しないもの） 乾燥タイプのふりかけ・海苔 プロセスチーズ きゅうりのキューちゃん レトルト食品 チルド食品* （レトルト食品とチルド食品は、電子レンジで加熱するタイプとお湯を注ぐタイプはOK。湯煎のみは不可。）	生の物・半生の物 （肉・野菜・魚・卵・魚卵等） →不衛生である  冷凍食品 →搬入前に解凍している可能性あり 瓶入りの物 →破損の危険性あり
<p>*チルド食品については必ず下記のことを守ってください</p> <p>（1）保冷材を入れたく保冷バックで持参してください</p> <p>（2）搬入後は自身の冷蔵庫にて保存してください</p> <p>（3）食べる前には電子レンジで加熱して食べてください（湯煎のみは不可） →加熱できないポテトサラダ等は不可</p> <p>*チルド食品とは、「真空パック包装」の物で「要冷蔵」「冷蔵保存」「10℃以下で保存してください」と記載があるものを指します。 →賞味期限内であること</p>		
調味料	【密封・個包装】 【①と②を満たす物】 ① はちみつ以外 ② 1回使い切りタイプ （瓶詰は不可） ＜上記を満たす物の例＞ 醤油・ソース・マヨネーズ・タルタルソース・海苔のつくた煮	はちみつ →ボツリヤス菌を含む危険あり 個包装でないもの →食べきれない場合、不衛生 瓶入りの物 →破損の危険性あり
*塩は菌が繁殖しないため個包装でなくてもOK		

患者・家族にやさしいオリジナル食品ルールを考案

食事パンフレット パソコン・スマホでチェック



◎ 摂取できるもの ~レトルト食品~

電子レンジやお湯を注いで加熱するもの

カップ麺・カップスープ

× 摂取できないもの ~調味料~

←ビンに入っているもの

↑ハチミツは個包装でも加熱していても×
(加熱処理してもポツリヌス菌は残る)

↑個包装でないもの
(ミニボトルも不可)

血内うがいをしましょう！

①



①うがい薬や水を口の中
に含みます

②



②右側、左側と片方ずつ
10回ブクブクうがいします

③



③鼻の下を膨らませながら上唇と
上歯の間に水を入れ、10回ブク
ブクうがいします

④



④同じように下唇と下歯の
間に水を入れ、10回ブク
ブクうがいします

⑤



⑤最後に口の中全体で10回
ブクブクうがいと、上向きで
ガラガラうがいします

⑥



⑥血内うがいをしたら、スッカリ！
口腔内のマッサージにもなります

起床時、食後、寝る前に血液内科的うがいを行い感染予防に努めましょう☆

造血幹細胞移植を受けられる方へ

リハビリについて



大阪市立大学医学部附属病院 リハビリテーション部

リハビリについて

移植前

- ・現在の体調や入院前の生活を聞いたり、移植に向けてのリハビリの説明をします。また、筋力測定や持久力の確認など、運動機能の検査を行います。

移植中

- ・無菌室に理学療法士が訪問してリハビリを行います。移植中は身体がしんどいことが多いため積極的な運動は行えませんが、少しでも体力が低下しないように無理のない範囲で運動を行いましょう。

移植後

- ・無菌室から退出し著明な合併症がなければ体力回復のため積極的に運動を行います。リハビリ室で運動を行います。



※あくまでも目安です。安全に配慮して、可能な範囲で行なっていきます。

リハビリについて

3. 自主トレーニング

以下に自主トレーニングの例を紹介します。

トレーニング中はゆっくり深呼吸しながら、行って下さい。1セット5-10分程度で開始しましょう。もしつらいと感じたら休み休み行うようにしましょう。

筋力の維持や増強にはトレーニングを毎日続けることが大切です。

下肢の運動-I（足の曲げ伸ばし）

【目的】足の動きをよくします。

【方法】

- ① 仰向けに寝ます。
- ② そのまま胸の方まで引き上げます。
- ③ そして、2~4秒止めてから、下ろします。
- ④ あとはこれを繰り返します。反対の足でも行います。



下肢の運動-2（足の筋肉を強くする）

【目的】太ももの筋肉を強くします。

【方法】

- ① 仰向けに寝て膝の下にまるめたタオルを入れます。
- ② タオルを下に押しつけるように足に力を入れます。
- ③ そして、そのまま5秒以上止めてから、ゆっくりと力を抜きます。
- ④ あとはこれを繰り返します。



下肢の運動-3（足をまっすぐあげる）

【目的】足をあげる筋肉を強くします

【方法】

- ① 仰向けに寝ます。
- ② 膝を伸ばしたまま45度くらいまで足全体を上げて5秒止めてから、ゆっくりと下ろします。
(注:この時、反対の方の足が上がらないようにしてください。)
- ③ あとはこれを繰り返します。反対の足でも行います。



リハビリについて

1. 廃用症候群について



➤ 廃用性筋萎縮について

1週間の臥床で10~15%低下するといわれています。

Müller EA: Influence of training and of inactivity on muscle strength. Arch Phys Med Rehabil, 1970, 1(8): 449-462.

➤ 呼吸・循環能低下について

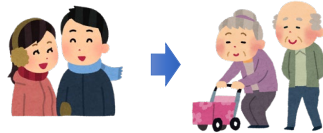
20日間臥床で、1回拍出量30%の減少、心拍数27%増加、最大酸素摂取量、安静臥床後に26.4%低下するといわれています。

Sahlin B, Blomqvist G, et al.: Response to exercise after bed rest and after training. Circulation 1968; 38 (Suppl 5): VII 1-78.

3週間の安静臥床は**40歳の加齢**

変化と同じといわれています！

また廃用症候群に陥ると回復するには時間がかかります。



★廃用症候群を予防するには、

入院生活の**活動量**を維持することが必要です！



当院のリハビリでは
活動量維持・増進を目的に実施しています。

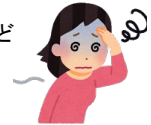


4. 転倒について

- 造血幹細胞移植を受ける患者様はご病気の影響や抗がん剤、放射線治療の影響で体調不良や筋力低下を起こしやすくその結果、転倒しやすくなります。
- また長期間寝たきりによる影響は筋力低下だけでなく、自律神経の反応性を低下させ、立ち上がったときに目眩をおこす起立性低血圧の要因になります。
- 睡眠薬やその他一部の薬剤では、その投与により眠気が出現し、転倒の危険性が高まります。

[転倒の危険因子]

- 個人の特性
 - ①筋力低下
 - ②バランス能力の低下
 - ③めまい、起立性低血圧
 - ④薬剤 など
- 外的環境や状況
 - ①病棟環境
 - ②不適切な靴
 - ③焦った状況 など



[転倒が及ぼす影響]

- 造血幹細胞移植を受ける患者様はご病気や抗がん剤により骨髓機能が低下しているため、血小板が減少し血が止まりにくい状態です。
- 頭部打撲などで**重篤な出血**につながる可能性があります。



転倒は絶対に予防しましょう！



移植計画書の記載 移植前

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I)

移植計画書1 移植計画書2 移植計画書3 入院 **移植前** 移植後 退院前

入室前日
/
 患者の私物搬入
 ・バジャマ
 ・パンツ
 ・タオル
 ・プラスチックの箸・スプーン・蓋付き
 ・ボディソープ・ハンドソープ
 ・歯ミガキ粉・歯ブラシ(1本/W)
 ・食器用洗剤・スポンジ
 ・食器洗い上げ用トレイ
 ・マスク
 ・ティッシュ・ウエットティッシュ
 ・コロコロ、ゴミ袋
 ・爪切り
 ・必要時紙おむつ
 ・飲料水
 ・保存食品
 ・踵のある靴

部屋の準備
 ・部屋用の点滴スタンドがあるか確認
 ・体温計・薬BOX・患者記録用尿量チェック表の準備
 ・ブラインドの作動確認
 ・酸素流量計の準備
 ・ネームプレートの設置
 (病室・面会廊下・パスボックス)
 ・手指消毒の期限・残量確認
 →(開封後6ヶ月)
 ・手袋の補充

プロトコール表の確認
 薬剤のオーダー確認
 ※必要時はクライオセラピーについて説明

床頭台のコンセントを入れる
 尿コップ・ユージンリン・尿器を準備
 ホワイトボードの保清表に記入
 →看護指示変更
 患者の私物搬入状況の確認
 酸素流量計(ベット用)・吸引器の設置

備考

入室当日
/

クリーンルーム入室時の手順書参照
 パンコンで移動実施
 看護指示の変更
 患者記録用尿量チェックリスト表の使用方法説明
 転倒転落アセスメント
 屯用薬の移動
 患者ファイルの中身の移動

口腔アセスメント開始
 含嗽水使用開始
 合意の上、全身の皮膚の写真撮影と取り込み

備考

移植前日
/

移植時間の確認
 →輸血部には医師が取りに行く

ハプトグロビンオーダー確認
 (BMTのABOミスマッチ・PBSCT→必要)
 (BMTのABOマッチ・CBT→不要)

ソル・コーテフォーダー確認(全例で必要)

移植時必要物品準備
 ・Y字管輸注ルート
 ・心電図モニター
 ・生食

備考

移植当日
/

必要物品の確認
 ベットサイドモニター
 架台付き酸素ボンベ
 ベット用点滴スタンド
 酸素流量計(ベット用)吸引器のチェック

備考

移植計画書

移植後

移植計画書

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I)

移植計画書1 移植計画書2 移植計画書3 入院 移植前 **移植後** 退院前

クリーンアウト後

食事

食事指導②食事パンフレット説明

感染日常生活

パンフレットを用いて、感染予防～日常生活について説明する

家族に外泊までの自宅の準備の説明・確認

- ・水回りの掃除(風呂・トイレ・洗面所・台所)
- ・シーツの洗濯・寝具の天日干しor布団乾燥機使用
- ・カーペットの掃除or除去
- ・エアコンフィルターの掃除
- ・カーテンの洗濯
- ・ペットのお世話方法について確認

内服

管理方法 (自己 看護師)

自己管理指導開始

リハビリ

病棟内での安静度の確認

病棟内でのリハビリ目標を具体的に一緒に立てる

例) 病棟内3周できる
→記録を残し情報を共有

社会資源

◆福祉用具準備 (有 無)

◆住宅改修 (有 無)

◆医療処置の継続 (有 無)

◆転院調整 (有 無)

◆かかりつけ医調整 (有 無)

◆CMとの調整 (要 不要)

◆MSWとの調整 (要 不要)

備考

外泊前

食事

食事指導(外泊・退院時の食事項目説明)
(移植後:外泊・退院されるとき)
・家事について(本人・家族)

栄養指導
(日時: / /)

感染日常生活

パンフレットを用いて、感染予防～日常生活について説明する

家族に外泊までの自宅の準備の説明・確認

- ・水回りの掃除(風呂・トイレ・洗面所・台所)
- ・シーツの洗濯・寝具の天日干しor布団乾燥機使用
- ・カーペットの掃除or除去
- ・エアコンフィルターの掃除
- ・カーテンの洗濯
- ・ペットのお世話方法について確認

内服

免疫抑制剤、ステロイド剤の内服管理方法説明

本人 家族

- ・嘔吐時、飲み忘れ時の対応
- ・離脱症状・副作用の注意点
- ・外来受診時の内服方法

リハビリ

PTにリハビリ状況確認

- ・本人と家族に具体的に注意点を説明

通院ルートに問題はないか確認

住宅環境(室内外ともに)確認
→生活環境チェックリスト確認

その他

中間サマリー(入院90日以上患者対象)

退院前在宅療養指導管理料

- ・指導内容と帰院後の反応を記録

備考

クリア 確定 閉じる

造血幹細胞移植を受け、退院される患者様・家族様へ

造血幹細胞移植を受け、

退院される患者様・家族様へ

もくじ



病院への電話相談 3

内服について 4

感染予防について 6

ワクチン接種について 7

慢性 GVHD について 8

性生活について 11

復職と復学について 12

氏名

大阪市立大学医学部附属病院 7階血液内科病棟

ネオオーラル・プログラフ・セルセプト

GVHDによる症状の経過を見ながら徐々に減量し、移植後6ヶ月～数年かけて内服を終了していきます。

1)内服を忘れた場合

1～6時間後に気づいた時は、すぐに内服してください。

6時間以上経ってから気づいた時は、忘れた分は内服せずに次の内服時間に1回分のみ内服してください。

2)外来受診時に採血がある場合

採血の結果を見て、内服を調整されることがあります。

朝の免疫抑制剤は飲まず、1回分を外来に持参してください。採血後、持参して内服して下さい。外来受診時に次回の外来受診時の際、飲まずに持参するか、内服してから受診するかを外来主治医に確認してください。

3)内服後に吐いてしまった場合

吐物の中にカプセルを確認した場合には、新しい薬を同じ量内服してください。確認が出来なかったり、内服してから1時間以上経過している場合は、再度内服する必要はありません。

4)自宅での心得

免疫抑制剤の副作用で腎臓の機能が悪くなることがあります。予防するためには、適度な飲水を心がけましょう。

※自己判断で内服を中止することは絶対にやめましょう。GVHDが突然現れたり、悪化することがあります。生命に関わる場合もあります。

* 誤って多く内服した時やどうすればいいか分からなときは、自己判断せず、医師に電話相談をして下さい。

ステロイド

GVHDによる症状を見ながら、少しずつ減量していきます。減量するスピードは個人によって異なります。

1)内服忘れに、**当日中に気付いた場合**

1回分をすぐに内服してください。

2)内服忘れに、**翌日に気付いた場合**

(1) 毎日内服している場合は、**忘れた分(昨日分)**は内服せず、通常通り内服してください。

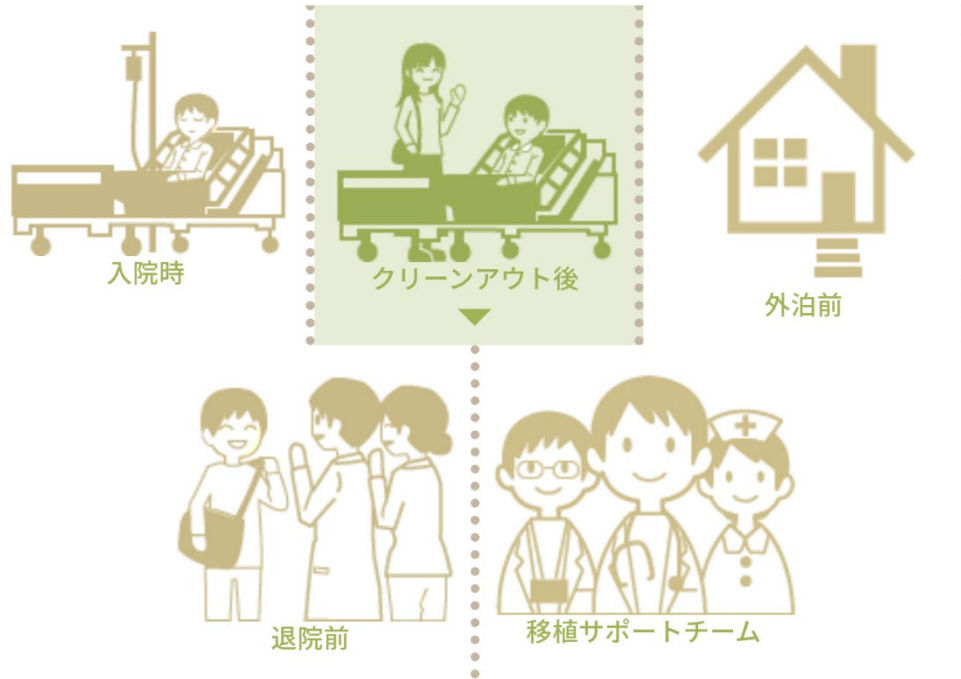
(2) 1日置きに内服している場合は、**昨日分**を内服し、次回からは通常通り内服してください。

※内服を忘れたことを、外来受診時に医師に伝えてください。

※誤って多く内服してしまった場合等どうすればよいか分からない時は、自己判断せず、医師に電話相談してください。

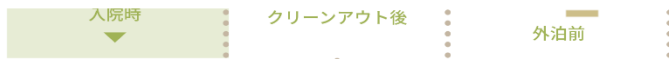
※自己判断で内服を中止することは絶対にやめましょう。GVHDが突然現れたり、悪化することがあります。生命に関わる場合もあります。

パソコン・スマホでいつでもチェック できます



- ホーム
- 施設のご案内
- お知らせ
- アクセス
- お問い合わせ

セミナー	教育と研修
移植コーディネート	地域連携センター



食事	食事指導（※食事パンフレット P4-7 ①免疫低下時） 栄養指導（※栄養士からのお知らせ） 食事パンフレット > 栄養士からのお知らせ >
感染・生活	感染予防について説明を受ける（※クリーンルームで治療を受けられる方へ）
内服	免疫抑制剤についての説明を受け、理解できる 薬剤師による服薬指導を受ける
リハビリ	リハビリパンフレットでベッド上のリハビリの説明を受ける リハビリパンフレット > 大腿骨頭壊死症パンフレット >



食事	食事指導（※食事パンフレット P8-10 ③移植後の一般病室） 食事パンフレット >
感染・生活	感染予防行動ができる ● 感染症の説明を受け、出現しやすい症状がわかる 外泊までの自宅の準備 ● 水回りの掃除（風呂・トイレ・洗面所・台所） ● シーツの洗濯・寝具の天日干しor布団乾燥機を使用 ● カーベットの除去or掃除 ● カーテンの洗濯 ● ペットのお世話方法について決める
内服	免疫抑制剤が点滴から内服へ変更される 看護師から内服の自己管理の指導を受ける
リハビリ	安静度の確認を行う

移植計画書

退院前

移植計画書

ファイル(E) 編集(E) 挿入(I)

移植計画書1 移植計画書2 移植計画書3 入院 移植前 移植後 **退院前**

退院前

食事

- 食事指導(外泊・退院時の食事項目説明)
(移植後:外泊・退院されるとき)
 - ・家事について(本人・家族)
- 栄養指導
(日時: / /)

感染日常生活

- 「同種造血幹細胞移植後フォローアップ」の冊子について説明する
 - ・社会復帰について(社会復帰:仕事、学業、性生活)
 - ・GVHDについて
- 下記の2冊が病棟主治医から渡されているか確認する
 - ・①「造血細胞移植患者手帳」
(☆P10、11、14～19は主治医により記載されている)
 - ・②「かかりつけ医のための冊子」
- 目標飲水2000ml/日できるように説明する

内服

- ※必要時
 - ・自己血糖測定・インスリン注射の指導
 - ・在宅療養指導料(№でコストとれます!!)
 - ・低血糖・シックデ이의説明
 - ・退院時の必要物品・インスリンのオーダー
 - ・在宅自己注射指導管理料・材料加算※指導料や材料加算など詳しくは別紙参照

リハビリ

- 外泊時の状況確認・記録
 - ・PTIに情報提供

社会資源

- ◆退院支援計画書などの書類の処理
 - 退院前カンファレンスを開催しシートに記入
 - 看護師で「退院調整加算1」をとる
 - 看護情報提供書 (要 不要)
- ◆退院調整必要時はMSWへ依頼 (要 不要)

その他

- ◆在宅カンファレンス(必要時)
 - ・介護支援連携指導料
 - ・退院時共同指導料
- 外来フォロー
 - 看プロ記入(退院計画)

備考

プライマリー看護師最終確認 未 済

プライマリー看護師名:

クリア 確定 閉じる

入院時 クリーンアウト後

外泊前



退院前



移植サポートチーム

食事	食事指導（※食事パンフレット P11-14 ③移植後：外泊・退院される時） 食事パンフレット ▶
感染・生活	感染予防行動ができる 外泊までの自宅の準備
内服	免疫抑制剤、ステロイド剤の内服の管理方法 <ul style="list-style-type: none"> 嘔吐時・飲み忘れ時の対応 離脱症状・副作用の注意点 外来受診時の内服方法 免疫抑制剤の自己管理ができる
リハビリ	リハビリの進行状況の確認 <ul style="list-style-type: none"> 床からの立ち上がりができる 階段の昇り降りができる リハビリの先生に自宅での注意点を確認 通院手段を決める

入院時 クリーンアウト後

外泊前



退院前

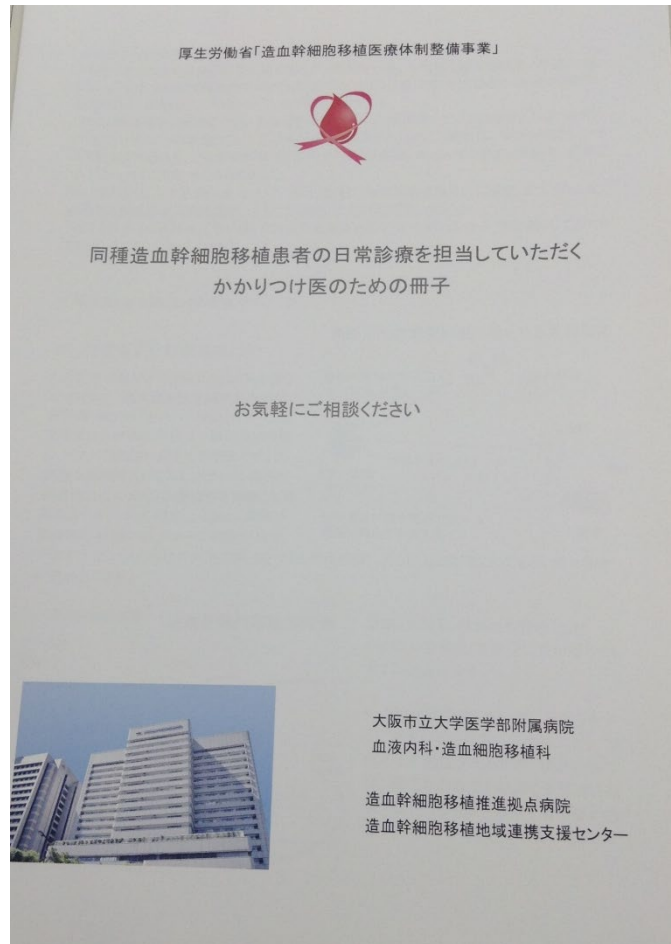


移植サポートチーム

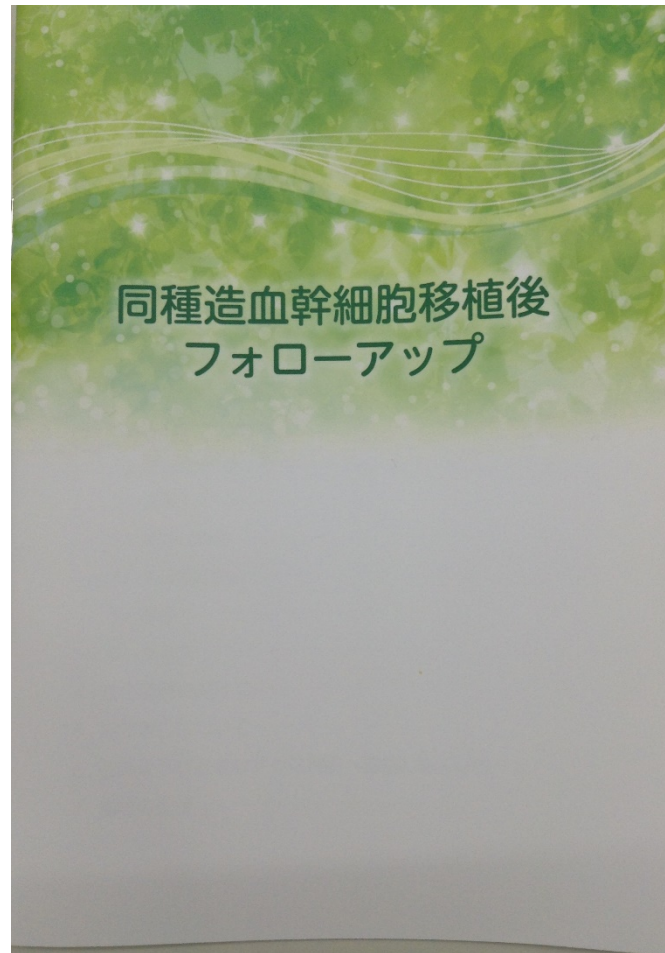
食事	食事指導（※食事パンフレット P11-14 ③移植後：外泊・退院される時） 家事について(本人・家族) <ul style="list-style-type: none"> 家事を主体とする方と栄養士さんからの指導をうける 食事パンフレット ▶
感染・生活	社会復帰についての相談 <ul style="list-style-type: none"> 仕事や学業のこと 性生活のこと GVHDの説明を受ける <ul style="list-style-type: none"> 出現しやすい症状 予防・対策方法 目標飲水2000ml/日ができる ⇒腎臓機能の保護のために必要
内服	免疫抑制剤、ステロイド剤の内服の管理方法 <ul style="list-style-type: none"> 嘔吐時・飲み忘れ時の対応 離脱症状・副作用の注意点 外来受診時の内服方法 免疫抑制剤の自己管理ができる
リハビリ	外泊時に困ったことについて医療者に相談する 退院後はリハビリが無いことを伝える
社会資源	緊急時対応の確認 <ul style="list-style-type: none"> 病院への連絡方法 連絡してほしい症状



退院前



退院前



目次	
1. プロフィール	2
2. 移植後におこりやすいこと	
1) 感染症・予防接種について	6
2) 移植片対宿主病 (GVHD)	11
3) GVHD 予防薬の副作用について	14
4) 晩期合併症	20
5) 二次がん	20
3. 移植後の過ごし方	
1) 感染症を予防する	21
2) 食事	23
3) 掃除 (環境)	28
4) 外出のときは	28
5) 整容	29
6) その他	30
4. 社会復帰に向けて	32
5. 相談窓口について	32
6. このようなときはすぐに病院へ連絡しましょう	33
7. 指導の記録	35

ご清聴ありがとうございました

